



TITLE:

表紙・投稿規定・ニュース・ひろ
ば・プレプリント・掲示板・編集
後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・ニュース・ひろば・プレプリント・掲示板・編集後
記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 1967, 9(3): 161-177

ISSUE DATE:

1967-12-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/86122>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和42年12月20日発行（毎月1回20日発行）
物 性 研 究 第9巻 第3号

vol. 9 no. 3

物性研究

1967 | 12

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、**o** と **a** と **0** (ゼロ)、**u** と **n** と **rr**、**c** と **e**、**l** (エル) と **1** (イチ)、**x** と **×** (カケル)、**u** と **v** 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (**a p** + **b**) **x** + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります
すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます
ます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、o と a と 0 (ゼロ)、u と n と rr、c と e、l (エル) と 1 (イチ)、x と × (カケル)、u と v 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (a p + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

掲 示 板

First Notice

International Conference on
Statistical Mechanics

Sponsored by International Union of Pure
and Applied Physics

Under the Auspices of
The Physical Society of Japan

To be held at

Kyoto Kaikan, Kyoto

september 9-14, 1968

掲 示 板

Organizing Committee

R. Kubo, Tokyo, Chairman
S. Ono, Tokyo, Secretary
R. Abe, Tokyo,
S. Katsura, Sendai
T. Matsubara, Kyoto
H. Matsuda, Kyoto
H. Mori, Fukuoka
S. Nakajima, Tokyo
H. Nakano, Nagoya
E. Teramoto, Kyoto
M. Toda, Tokyo
K. Tomita, Kyoto
T. Yamamoto, Kyoto

Advisory Board

K. Husimi, Nagoya
M. Kotani, Osaka
T. Nagamiya, Osaka
H. Yukawa, Kyoto

Provisional Program

The following is a provisional arrangement of sessions. The morning sessions will be devoted to review or invited papers and the afternoon sessions mostly to contributed papers. Time will be allowed for discussion after each paper.

Monday	9	Sept.	Morning and afternoon
Tuesday	10	Sept.	Morning and afternoon

Wednesday 11 Sept. Morning
Thursday 12 Sept. Morning and afternoon
Friday 13 Sept. Morning and afternoon
Saturday 14 Sept. Not definite

A detailed plan of the program will be sent to participants by the end of May 1968.

Languages

It is hoped that where possible papers will be presented in English. Translation facilities will not be provided.

Attendance

The Conference is open to all those interested in the Conference subjects. The total number of participants in the Conference will be limited to 400.

Papers

The Conference Will be composed of invited papers (20-40 min.) and contributed papers (10-15 min.). Participants want to submit a paper to the Conference are requested to fill in the appropriate place on the attached form. An application form and instructions for preparing an abstract of the paper will be sent by the end of January 1968. The deadline for returning the application and abstract is March 15, 1968. Selection of papers will be decided by the Program Committee on the basis of the abstracts on later than the end of April.

掲 示 板

Accommodations and Travel Arrangements

The Conference will be held at the Kyoto kaikan (Kyoto Conference Hall). Participants can obtain their accommodations in various hotels in Kyoto. Accommodations and travel arrangements will be provided by the Japan Travel Bureau (JTB), 1, Marunouchi, Tokyo. Hotel charges will be U.S. \$9 and up per day. Since, in view of the great demand for accommodations in Kyoto during the period of the Conference, it is necessary for us to know the approximate number of participants as early as possible, those who wish to attend the Conference are requested to send in the attached form at their earliest convenience.

Registration Fee

The registration fee will be about U.S. \$20.

Application

Further notices may be obtained by request, or by completing and returning the attached form.

Enquiries

All enquiries about the Conference should be addressed to:

Professor S. Ono, Secretary
International Conference on Statistical Mechanics
College of General Education
University of Tokyo,
Komaba, Meguro-ku
Tokyo, Japan

Preliminary Registration Form

Please fill in and send to the Conference secretary by
Dec. 25, 1967, if you wish further notices.

[国内の切は来年1月末日まで]

Please type or print.

1. Name: Professor, Dr., Mr., Mrs., Miss.

(Last name)

(First name)

(Initial)

2. Mailing address.

3. Position and Institution.

Please check.

I am interested in attending the Conference.

Probability %

I will be accompanied by

I would like to submit a paper, and its title
will be

ニ ュ ー ス

◎ 人のうごき

- 鈴木勝久氏(東大理) Bell 研究所に出張
- 服部真澄氏 名大工学部より名工大に転任

◎ 公 募

新潟大学理学部物理学教室教授または
助教授公募のお知らせ

下記により、教授または助教授を公募いたします。希望者の応募，適任者の推薦をお願いします。

- | | |
|--------------|--|
| 1. 公 募 人 員 | 教授または助教授 1 名 |
| 2. 専 門 分 野 | 固体物性実験 |
| 3. 公 募 締 切 | 昭和 43 年 1 月 15 日 |
| 4. 就 任 の 時 期 | 昭和 43 年 4 月 1 日を希望します。 |
| 5. 提 出 書 類 | 履歴書，研究業績リストおよび主要論文別刷，
推薦のばあいにはあわせて推薦書 |
| 6. 書 類 宛 先 | 新潟市西大畑町 5 2 1 4
新潟大学理学部物理学教室 |

横 田 伊 佐 秋

〔TEL 0252-23-6161(420)〕

信州大学理学部物理学教室教官公募

1967. 11. 4

10月30日/切の、物性理論助教授の公募に、適任者の応募が得られませんでしたので、あらためて下記のように、当教室の教官1名を公募します。

1. 専攻分野 物性理論（助教授または講師）
または物性実験（教授，助教授または講師）
2. 資格 博士の学位をもつか，近く取得するみこみの方
3. 提出書類 履歴書，研究歴，業績リスト，主要論文の別刷，
推薦書（もしあれば），専攻分野と希望するポスト
4. 着任時期 1968年4月 1日
5. 公募/切 1968年1月10日

宛 先 松本市 県 3-1-1

信州大学理学部物理教室

勝 木 渥

名古屋大学教養部物理学教室の教官公募

下記により教官1名を公募いたします。希望者の応募，適任者の推薦をお願いいたします。

1. 公募するポスト 助教授または講師，場合によっては教授
2. 研究分野 電波物性関係の実験
3. 提出書類 履歴書，健康歴
論文リスト，特に主要な論文の別刷
推薦書（他薦の場合）
希望するポスト
4. 期 限 昭和43年1月20日

5. 宛 先 名古屋市千種区不老町

名古屋大学教養部 物理学教室主任

杉 山 旭

..... 0

湯川記念財団奨学生募集について

今般左記要項により昭和43年度奨学生を募集することといたしましたので
貴部内関係者に周知方よろしくお願いいたします。

なお、外国留学中の有資格者に対しても適宜の方法にて、御連絡お願いいた
します。

記

奨学生募集要項

1. 応募資格

大学院博士課程修了者及び43年3月修了予定の理論物理学研究者（こ
の奨学金は大学院博士課程修了者に、その研究の完成を援助する目的をも
って重点的に交付される、いわゆる Post Doctorial Fellowship とし
て支給されるものである。）

2. 支給金額

月額 25,000円以内

（原則的にはこの最高額が支給されるが、研究者の他の収入、研究場所
などによってそれより減額される場合がある。更新は認められるが、継続
3カ年をこえないものとする。）

3. 研究場所

基礎物理学研究所において研究することを原則とするが、事情により他
の適当な場所であってもよい。

4. 募集人員

3名（内訳は、大体素粒子論2名、物性論1名、中間の領域について

は適宜に定める。)

5. 応募書類及び審査

希望者は所定の申込書 1 部に発表論文リスト, 主な論文の別刷, 1 カ年の研究題目と計画を各 2 部あて添付して, 昭和 43 年 1 月 31 日までに, 京都市左京区田中大堰町 49 湯川記念財団あて送付すること。他に奨学金, その他の収入ある場合, あるいは研究場所について, 特に希望のある場合などは必ず書き添えること。

審査は基礎物理学研究所運営委員に依頼する。この審査会ではそれぞれの専門に近い委員 2 名が論文について調査し, その報告に基づいて審査会が候補者をきめ, 財団の理事長に推薦する。

昭和 42 年 12 月

財団法人 湯川記念財団

ひろば

○ [久保研コロキウム]

10/17 猪狩英雄 (M2)

Stochastic Model of Dielectric Relaxation
(Master Thesis)

10/24 海老沢正道 (M2)

拡張された G-L 方程式 — Overlapping Band を持つ超電導体
(Master Thesis)

10/31 長谷川 洋 (京大理)

半導体におけるトンネル効果

11/7 五十嵐儀孝 (M2)

Pd 中の水素 (Master Thesis)

11/14 石井 力 (D3)

Anomalous Scattering of Electrons by Magnetic
Impurities in Superconductors
— Nagaoka の方法による取扱い —

(編集部注)

大学紹介を特集号でやるばかりでなく、物理教室や各研究室でやっている定期的なコロキウムや論文紹介の様子を載せたら、その研究室の興味の対象等が良くわかるのではないかという提案が、東大物理教室の地方編集員から出されました。東大以外の大学や研究所の様子も、何らかの形で知らせて下さるように希望しています。

プレプリント案内

[久 保 研]

Singlet-Triplet Formulation for Dilute Magnetic Alloys

1. s-d exchange model (Gerald Horwitz, Shlomo Alexander, Moshe Fibich)

On a Theory of Atomic Motions in Simple Classical Liquids

(K.S. Singwi*, A. Sjölander)

Bibliography - Recent Research on Electron Spin Density

(H. Eugene Stanley)

Critical Phenomena in Heisenberg Models on Magnetism

(H. Eugene Stanley)

The Theory of Equilibrium Critical Phenomena

(Michael E. Fisher)

Thermodynamics In The Special and The General Theory
of Relativity (C. Miller)

Reply to a Note by Jauch, Wigner and Yanase Concerning
the Quantum Theory of Measurement (A. Loinger)

Neutron Diffraction Study of Tb and Ho under High Pressure

(H. Umebayashi, G. Shirane, B. C. Frazer, and
W. b. Daniels)

Spin Wave Dispersion Relation in Fe-Ni Alloys (F. Menzinger, G. Cagliardi, G. Shirane, R. Nathans, S. J. Pickart, and H. A. Alperin)

Spin Waves in 3d Metals (G. Shirane, V. J. Minkiewicz, and R. Nathans)

Singlet Triplet Formulation for Dilute Magnetic Alloys

(Moshe Fibich and Gerald Horwitz)

プレプリント案内

Contribution a l'etude theorique des susceptibilites
magnetiques dynamiques des metaux et alliages de
transition. Propositions donnees par la faculte.

(Pascal Lederer)

Equilibrium and Linear Response of a Classical Scalar
Plasma (G. Kalman)

Remark on the Parametrization of the States of Complex
Systems (Irving Segal)

Spin Relaxation of Localized Magnetic Moments and
Conduction Electrons in Metals: Manganese in
Silver (A. C. Gossard, T. Y. Kometani, and
J. H. Wernick)

[東大 教養]

Proper-Connected-Diagram Expansion of Electrical
Conductivity for Electron-Impurity System.
(S. Fujita & C. C. Chen)

On a Gyro-Thermal Effect with Polyatomic Gases in a
Magnetic Field. (L. Waldman (Erlangen, Germany))

Cumulant Expansion of Localized Electron Model for
Antiferromagnetic Insulators. (T. Arai (Argonne
Nat. Lab.))

Molecular Schrödinger Equation VIII. A New Method for
the Evaluation of Multidimensional Integrals.
(H. Conroy (Mellon Inst.))

Lecture Notes on Theory of Multiplets in Crystals (Lig-
and Field Theory). (S. Sugano)

The Stability of the Ferromagnetic State in the Band
Model. (D. M. Edwards (London))

Spin Waves in 3d Metals. (G. Shirane, V.J. Minkiewicz
and R. Nathans (Brookhaven))

Critical Fluctuation in Superfluid He⁴, (R. Ferrell)

Singlet Triplet Formulation for Dilute Magnetic Alloys.
(M. Fibich and G. Horwitz (Yeshiva Univ.))

[東北大・工・応物・桂]

Lower Bound for the Isothermal Magnetic Susceptibility.
(H. Falk)

The Solution of the Dimer Problem by the Transfer Matrix
Method. (Elliott H. Lieb)

The Residual Entropy of Square Ice. (Elliott H. Lieb)

Ice, Ferro- and Antiferroelectrics. (Elliott H. Lieb)

[日大・理工物理]

Ground-State and Low-Excited Properties of Liquid He³
Calculated with a Two-Body Potential.
(Theodore W. Burkhardt)

Higher Order Corrections to Collective Particle-Hole
Excitations Using Green's Function Techniques.
(B. R. Barrett)

Computer "Experiments" on Classical Fluids. II. Equilibrium
correlation functions. (Loup Verlet)

Theory of Zeeman Effect for Rare Earth Ions in Crystal
Field with C_{3h} Symmetry III. (R. W. G. Syme,
W. J. Haas, F. H. Spedding and R. H. Good, Jr.)

[東京教育大]

Fluctuations on a Josephson Junction (A. L. Fetter and
M. J. Stepher)

プレプリント案内

Theory of Dilute Solutions of Liquid He^3 in He^4 at Low Temperature (C.A. Ebner)

Dynamics of the Ising Model near the Critical Point I (Masuo Suzuki and Ryogo Kubo)

A Theory of the Second Order Phase Transitions in Spin Systems II Complex Magnetic Field (Masuo Suzuki)

A Theory of the Second Order Phase Transitions in Spin Systems III Critical Behaviors of Correlation Functions in Ising Ferromagnets (Masuo Suzuki)

Effect of the Potential Scattering on the Low-Temperature Anomalies due to s-d Interaction (Y. Nagaoka)

Thermodynamic Properties of Sinusoidal Spin Density Waves by the Band Model (Masao Shimizu)

High Field Susceptibility for Iron Metal and Its Alloys (Masao Shimizu and Hideji Yamada)

Kinetic Equations for a Turbulent Plasma (Setsuo Ichimaru)

The Destruction of Superconductivity by a Pulse Current of Rectangular Form in Type 1 and 2 Superconductors (Y. Shibuya, T. Aomine, H. Abe and S. Koga)

Phonon Instability and Current Saturation (Kazuo Yamada)

Ultrasonic Attenuation near the Magnetic Critical Point. (Kensuke Tani and Hazime Mori)

Longitudinal Spin Pair Correlation in Antiferromagnets. (Kensuke Tani and Hideho Tanaka)

Dynamics of Displacive-type Ferroelectrics. - Soft Modes - (Kensuke Tani)

Theory of Phase Transition in Solid Methanes. I. Electrostatic Multipole-Multipole Interaction

(T. Yamamoto)

Theory of Phase Transitions in Solid Methanes, II. Nuclear Spin Species A and T of Light Methane (Phys. Rev. received). (T. Yamamoto and Y. Kataoka)

Dynamics of Displacive-Type Ferroelectrics—Soft Modes. (K. Tani)

Theory of Collision-Induced Infrared Absorption in Compressed Gases, I. Collision-Induced Translation Absorption in Rare Gas Mixtures. (K. Okada, T. Kajikawa and T. Yamamoto)

Coarse-Grained Quantities in Aperiodic Systems, III. Coarse-Grained Spectra of Three Dimensional Matsubara-Toyozawa Model. (K. Okada and H. Matsuda)

Nuclear Magnetic Spin-Lattice Relaxation in Solid Ortho-Hydrogen below T_λ . (S. Homma)

On Pairwise Additivity of Dispersion Energies in Paraffin and Graphite Crystal. (Y. Yasuda)

Lifshitz Force between Graphite Masses. (Y. Yasuda)

「物性研究」には、地方編集員制度（？）というのがある。これは、京都編集員（現在7名、他に校正者1名）が京都で編集を行う他に、全国の主な大学、研究所に地方編集員をおき、各々の場所での読者の生の要求や希望をふまえて、編集に参加してもらおうというのが、そもそもの目的だったようである。この制度は、現在の京都編集部のメンバーが編集をひきついだ時に、すでに確立されていた。それから1年余、我々は地方編集員が「物性研究」の編集発行にどんな役割を実際に演じているかをみてきた。10月は丁度「物性研究」の会計年度の切り換え時にも当るので、今後の編集方針を議論した際に、地方編集員制度についても考えた。現在、地方編集員が行っている仕事は、プレプリント案内と、人のうごきがその殆んどで、我々が期待しているだけの役割をフルに演じているとは、必ずしも言えないのが現状である。しかし、「物性研究」という雑誌そのものの存在の必然性とか、読者がこの雑誌を必要とする程度が、その昔「物性論研究」の創刊されたころとは全く違って来ているという現実をかんがみれば、それも無理からぬことなのかもしれない。

戦時中、外国からの情報が一切入らず、国内でも英文の雑誌は発行できなくて、邦文の雑誌も少く、しかも研究会とか学会での研究の交換の機会にも殆んど恵まれないという事態の下で、研究者のやむにやまれぬ要望で生まれたのが「物性論研究」であった。「物性論研究」の背負っていた使命や必然性を、いま「物性研究」が持たなくてもよいような研究体制が完全にできあがったというのなら、我々は喜ぶべきであろう。だが、はたしてそうなのかという疑問を抱くのは、ひとり筆者のみだろうか、……………

「物性研究」をそれ程大事には思っていないが、全然消えてなくなるというのも、なんとなく物足りない — という、忙しい中を駆けまわって編集している者にとっては、およそ discouraging な発言をものともせず（？）ががんばっているのは、やはり自分なりにこの雑誌の存在意義をつかんだつもりでいるからなのかもしれない。

京都編集員は多少忙しくても、今後もっと積極的な姿勢で企画編集を行うこ

編集後期

とを確認し合ったことは、編集会議が最近活気をおびて来たように思われることと合わせて、うれしいことである。

(Y.)

物 性 研 究

第 9 卷 第 3 号
1967年12月20日発行

発行人 松 田 博 嗣
京 都 市 左 京 区 北 白 川
京都大学基礎物理学研究所
印刷所 昭 和 堂 印 刷 所
京都市上京区上長者町通室町西入
発行所 物 性 研 究 刊 行 会
京都市左京区岡崎徳成町 1 1
有限会社

編集後期

とを確認し合ったことは、編集会議が最近活気をおびて来たように思われることと合わせて、うれしいことである。

(Y.)

物 性 研 究

第 9 卷 第 3 号
1967年12月20日発行

発行人 松 田 博 嗣
京 都 市 左 京 区 北 白 川
京都大学基礎物理学研究所
印刷所 昭 和 堂 印 刷 所
京都市上京区上長者町通室町西入
発行所 物 性 研 究 刊 行 会
京都市左京区岡崎徳成町 1 1
有限会社

購読規定

個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって3月末までになるだけ(1年間分会費を御支払い下さい。なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

※ 1年間の会費

1 st volume	960円
2 nd volume	960円
計	1,920円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく20Vol.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、10Vol.1,800円です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

目 次

Transverse s-d 相互作用の波動関数法による考察大成逸夫、石川幸志、水野幸夫...	85
s-d 相互作用	大坂 之雄... 125
講義ノート	
金属強磁性 (V)	最 終 回.....金森順次郎... 148
掲 示 板	
International Conference on Statistical mechanics —— First Notice ——	161
ニュース	
人のうごき.....	166
公 募.....	166
ひ ろ ば	
久保研コロキウム.....	170
プレプリント案内.....	171
編 集 後 記.....	177

目 次

Transverse s-d 相互作用の波動関数法による考察大成逸夫、石川幸志、水野幸夫...	85
s-d 相互作用	大坂 之雄... 125
講義ノート	
金属強磁性 (V)	最 終 回.....金森順次郎... 148
掲 示 板	
International Conference on Statistical mechanics —— First Notice ——	161
ニュース	
人のうごき.....	166
公 募.....	166
ひ ろ ば	
久保研コロキウム.....	170
プレプリント案内.....	171
編 集 後 記.....	177